

# はじめに

## 1 みえ県民意識調査の概要

県では、「みえ県民カビジョン」において、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げています。このことから、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、一万人の県民の皆さんを対象に、日ごろ感じている幸福感などの実感などをお聞きする「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。

令和2年1月から3月にかけて実施した「第9回みえ県民意識調査」の概要は次のとおりで、集計結果は5月に公表しました。

- 調査期間：令和2年1月～3月
- 調査対象：県内に居住する18歳以上の男女10,000人に対する郵送アンケート
- 有効回答数：4,751人（有効回答率 47.5%）
- 調査項目：
  - ・ 幸福感（第1回調査からの継続項目）
  - ・ 県民指標の一部
  - ・ SDGs、Society 5.0に関すること
  - ・ 健康づくりに関すること
  - ・ ご家族に関すること

## 2 分析レポートの目的

「みえ県民意識調査」を詳細に分析した結果は、県民の皆さんの幸福実感を高めるために、政策議論の際の参考としてきました。

今回の調査については、既に集計結果（報告書）を公表し、県の年次報告書である「成果レポート」にも主な結果を記載したほか、「三重県経営方針」の策定及び当初予算議論の際の参考資料等としても活用しました。さらに、戦略企画部において、専門家の助言も得ながら、詳細な分析を進めてきました。

このレポートでは、幸福実感について詳細に分析した結果を整理した上で、県民の皆さんの幸福実感と密接に関連しているものは何か、あるいは幸福実感向上のためにはどのような課題があるのかなどについて考察した内容を記述しています。この調査結果だけで政策の方向性等を判断することはできませんが、このレポートをきっかけとして、県民の幸福実感向上と政策のあり方等について議論が展開されることをめざしています。

### 3 本レポートの構成

第1章「幸福感の現状」では、10点満点で質問した幸福感の特徴や傾向等について見るため、属性別に集計するとともに、幸福感を判断する際に重視した事項や幸福感を高める手立てと幸福感の関係等をまとめました。

第2章「SDGs、Society 5.0に関すること」では、SDGsやSociety 5.0の認知度や期待する目標や分野と幸福感との関係等について分析を行いました。

第3章「健康づくりに関すること」では、健康づくりへの取組や取組による効果、取組に欠かせないもの等について分析を行いました。

第4章「少子化対策に関する分析」では、18歳～40歳代の結婚への希望や子どもを持つことの希望について現状を把握し、また、実際の子どもの数と理想の子どもの数との間に差が生じていることから、その理由について分析を行いました。

### 4 その他（記載方法など）

- ・本レポートでは、10点満点で調査した幸福感についてのみ「幸福感」として記述し、地域や社会の状況についての実感を含む主観的な実感全体については、「幸福実感」として記述しています。
- ・データを属性別に細分化すると、サンプル数が少なくなり、統計的な精度が低くなることから、データの統計的な有意性について可能な限り確認しました。なお、統計的な有意性を確認しているものは、その旨を記載しています。
- ・スペース等の都合上、選択肢の表現等を趣旨が変わらない程度に簡略化して記述しています。また集計にあたっては、未回答の扱いや四捨五入の関係により、回答比率の合計が100%にならない等の場合があります。
- ・詳細なデータについては、データ集として別冊にまとめています。データが必要な方は、県ホームページ（[URL](http://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki) <http://www.pref.mie.lg.jp/KIKAKUK/HP/mieishiki>）をご覧ください。か、三重県戦略企画部企画課（TEL 059-224-2025 電子メール [kikakuk@pref.mie.lg.jp](mailto:kikakuk@pref.mie.lg.jp)）まで連絡をお願いします。